

平成29年度 学生による地域活性化プログラム

「まちの駅」から越路地域の 魅力を発信



鯉江康正ゼミナール
活動報告書

08

平成29年度

ごあいさつ



長岡大学 学長 村山 光博

長岡大学の「学生による地域活性化プログラム」は、平成19年度に文部科学省の現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代GP)に採択された「学生による地域活性化提案プログラム—政策対応型専門人材の育成—」に始まり、平成25年度からは文部科学省「地(知)の拠点整備事業」(大学COC事業)に採択された「長岡地域<創造人材>養成プログラム」の一環として、発展・継続して取り組んで参りました。現在では、本学の特徴的な教育プログラムとして周辺地域における認知度も高まってきていると実感しております。これまで11年の長きにわたりこの取り組みを続けて来られたのは、地域の皆様の暖かいご支援とご指導の賜物と、心より御礼申し上げます。この取り組みが十分に地域の活性化に貢献しているとは言えませんが、これまで本プログラムの運営に多大なご協力をいただいていた地域連携アドバイザーの方々だけでなく、たくさんの地域の方々から個々の取り組みテーマに対するお問い合わせや称賛の声をいただいております。また、最近では取り組みの中心となる学生の活動に関して、新聞やテレビなどのマスメディアでも大きく取り上げていただくことが多くなりました。

長岡大学の建学の精神は、

- ・幅広い職業人としての人づくりと実学実践教育の推進
- ・地域社会に貢献し得る人材の育成

です。本プログラムは、まさにこの精神を実現するための本学の中核となる教育プログラムであると言えます。

「地域活性化とは何か」という問いに対する明確な答えは無いと思いますが、本プログラムでは、答えの無い課題に対して、どのように考え、どのように行動して行くのかを学生が自ら試行錯誤する中で体得していくことができます。大学を卒業して地域社会の一員となる学生たちが、将来、地域が抱える課題に日々取り組んでいくことになると考えると、彼らにとってこれらの体験は大変貴重なものとなることでしょう。

本プログラムでは、各ゼミナールでテーマを設定し、ゼミに所属する学生のグループが活動を進めて行くこととなりますが、時には一緒に活動する地域の大人たちとの意見の食い違いや、学生同士のちょっとしたすれ違い等が起きることもあります。このような体験も学生がさらに一歩成長するきっかけとなります。ゼミで決めたテーマをまとめ上げるために、どのように他者とかかわりながら取り組みを進めて行くべきなのか、この取り組みの中で自分の役割は何であるのか、などを考えながら活動を行っていくことで、チームで活動することの難しさだけでなく、チームで何かをやり遂げたことの充実感や達成感を味わうことができます。

長岡大学の「学生による地域活性化プログラム」では、学生が地域の皆様と一緒に汗をかき、考え、そして楽しむことで、目先の地域貢献活動だけでなく、将来にわたって地域の活性化を担っていける人材の育成を目指しております。

地域の皆様には、日頃より本プログラムへの多大なるご支援とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

平成30年3月



長岡大学は、文部科学大臣の認証を受けた『公益財団法人日本高等教育評価機構』により、平成28年度大学機関別認証評価を受審し、平成29年3月7日、日本高等教育評価機構が定める大学評価基準を満たしていると「認定」されました。

はじめに

「まちの駅」から越路地域の魅力を発信



長岡大学教授／ゼミ担当教員 鯉江 康正

本年度のゼミは、4年生15名、3年生9名、2年生1名の25名という大所帯でのスタートとなった。また、本年度は、越路地域のまちの駅の方から、越路を盛り上げるようなマップを作ってほしいという依頼を受けたこともあって、昨年度まで継続してきた調査・研究活動を踏襲する【「まちの駅」をフィールドとした活動等による地域活性化への貢献】と新しい試みとしてマップを作成する活動【「まちの駅」から越路地域の魅力を発信】の2取組を行った。ここに紹介する取組は、越路地域をフィールドとしたものである。最初に述べておきたいのは、この25名のチームワークが非常によいということである。2つの取組については一応チーム分けをしたが、ゼミ生全員が両取組に何らかの形で参加しており、その意味ではゼミ活動そのものの報告である。

報告書では、総論としての「調査・研究の目的」、「まちの駅の概要」から始まり、「マップの作成と越路の魅力紹介」、「作成後の情報発信」と続き、「活動の振り返り」をきちんと行っている。「調査・研究の目的」では、これまでのゼミ活動を簡単に紹介するとともに、その延長線上としてマップ作りを依頼されたこと、および、この取組の全体構成をまとめている。「まちの駅の概要」では、まちの駅がどのような機能を有しているかをそのシンボルマークを紹介することにより行っている。「マップの作成と越路の魅力紹介」では、越路地域にある7つの「まちの駅」の紹介とヒアリングや文献調査から得られた知見をもとに周辺観光スポット（学生が自らの足で訪問したというところに意義がある）の紹介も行っている。それらをもとに、マップ制作を行ったわけであるが、その過程が詳細に記述されている。「作成後の情報発信」ではマップ配布イベント、マップ作成にかかわった方々との交流の様子を紹介している。最後に「活動の振り返り」も学生ならではの振り返りが行われている。

これらの活動を通して、全体としてのPDCAだけでなく、個々の活動においてもPDCAサイクルが回っており、学生の社会人基礎力（アクション力、シンキング力、チームワーク力）が上昇していく様子がうかがえる内容になっている。また、本学の使命・目的である、『長岡大学は「ビジネスを発展させる能力と人間力を鍛える大学」です。長岡大学は、学生に「毎日の大学生活で充実感を、能力アップを確かめて達成感を、卒業のときに4年間を振り返って満足感を」実感させます。』の成功例であると自負している。

いみじくも学生自身が最後の「とりまとめ」で、「自分たちがこれまでやってきた活動に自信を持ち、それを伝える」、「地域活性化活動はやらされているのではなく自分たちから楽しんでやる」と整理しており、ゼミ生全員が共有した考えであることがわかる。

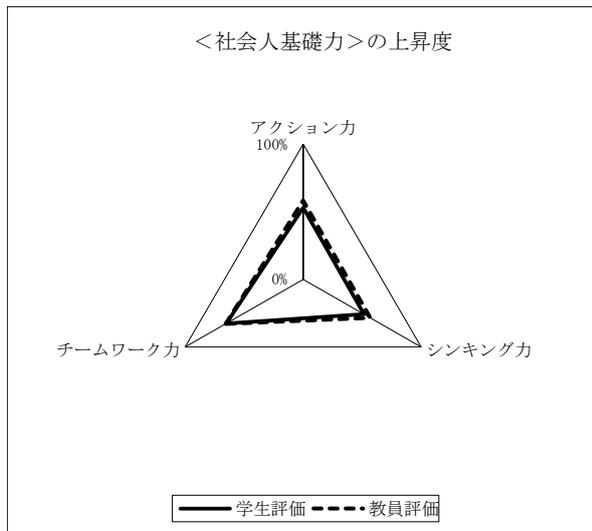
全体を通して、学生はよく頑張ったと思っている。ヒアリング調査や文献調査、マップ配付活動、成果発表の準備では自分の役割を充分認識しつつ、その上で、助け合う心や感謝する気持ちを持てるようになったと思う。もう一つの活動である『「まちの駅」をフィールドとした活動等による地域活性化への貢献』と併せて御一読いただければ、幸いに存じます。

なお、活動に当たっては「手作りお漬物の駅（有限会社ドリム岩塚）駅長」の内藤敦氏、「NPO 法人市民協働ネットワーク長岡」の高橋秀一氏を始め、ヒアリング調査、マップ作成に協力してくださいました地域の皆様に多大なるご協力をいただいております。この紙面を借りて深く感謝申し上げます。

平成30年3月

平成 29 年度 学生による地域活性化プログラム 社会人基礎力の上昇度

地域活性化プログラムにおける学生教育の目標は、社会人基礎力の向上、ビジネス展開能力の向上、専門的スキルの向上が目的である。平成 29 年度学生による地域活性化プログラムに参加した 8 取組の学生の「社会人基礎力」の伸び具合について、学生とゼミ担当教員にアンケートを実施した。アンケートは取組に参加した学生一人一人を対象に、社会人基礎力の変化を評価する形で実施した。学生は自己評価（有効回収 66）であり、教員は各ゼミ生についての評価である。



★「社会人基礎力」

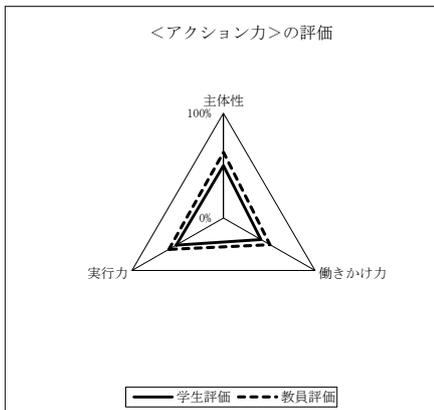
＝「アクション力」「シンキング力」「チームワーク力」が上昇

3 つの社会人基礎力の上昇度（取組前と取組後の比較）は、これまで学生の自己評価と教員評価の間に乖離があったが、今年度はその差が縮まり、チームワーク力は、ほぼ一致した。長年、活動を続けてきた成果ではないか。

今後の取組においては、全体的な上昇度を高めていくことが重要である。

＜社会人基礎力＞の上昇度

	学生評価	教員評価
アクション力	53.0%	58.2%
シンキング力	51.5%	56.7%
チームワーク	65.2%	65.7%

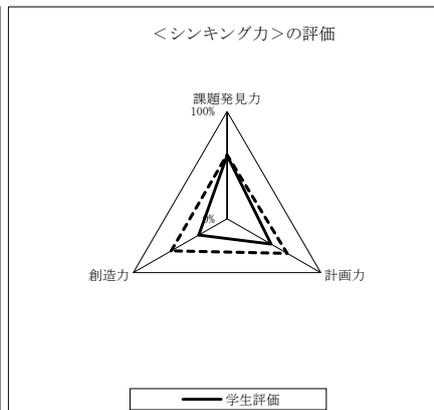


	学生評価	教員評価
主体性	50.0%	62.7%
働きかけ力	40.9%	50.7%
実行力	51.5%	59.7%

＜アクション力＞

アクション力の 3 つの指標を比較すると、すべての指標において教員評価が学生評価を 10 ポイント前後上回った。昨年度は全体的に学生評価の方が上回っていたが、今年度は逆の結果となった。

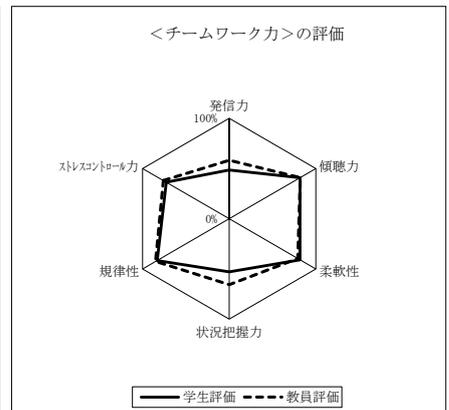
学生は活発に活動すればするほど自己評価が厳しくなり、このような結果になったのではないかと。今後は学生が成長をいかに実感できるというところまで追及した指導が必要となるのではないかと。



	学生評価	教員評価
課題発見力	59.1%	59.7%
計画力	47.0%	64.2%
創造力	30.3%	59.7%

＜シンキング力＞

学生の自己評価では、課題は見つけられたが、日々の活動の中で計画力や創造力という面で力不足を実感したのではないかと。しかし、それは学生にとってとてもよい経験になったはずである。教員評価は昨年度と比較すると 3 つの指標すべてで 20 ポイント前後上昇している。アクション力同様、日々の活動において、どのような点がよかったか、または悪かったなど、学生と教員とのコミュニケーションをさらに深めていく必要がある。



	学生評価	教員評価
発信力	48.5%	58.2%
傾聴力	81.8%	82.1%
柔軟性	81.8%	79.1%
状況把握力	53.0%	65.7%
規律性	83.3%	85.1%
ストレスコントロール力	72.7%	76.1%

＜チームワーク力＞

チームワーク力は、「アクション力」や「シンキング力」よりも学生評価と教員評価の類似性が高い。

学生の自己評価も同様であるが、教員の評価が発信力と状況把握力が低い点は、今後指導を強めていく必要がある。昨年に引き続き課題となった。

平成29年度 学生による地域活性化プログラム

鯉江康正
ゼミナール

「まちの駅」から越路地域の魅力を発信



【参加学生】25名

4年生 池田諒馬 江口枝里子 片桐湧太 木島俊久 小松綾乃
須田滉介 陈奥 田源一 中島なつ美 中曾根湧 薙澤雄樹
山崎隼斗 楊婉蘭 横田百合江 鷲尾創太

3年生 王巍 加藤茉那 Jargalsaikhan Byambatuvshin 新保聡
鈴木絵莉香 Gantumur Uugantsetseg Tsogoo Munkhaya
Khurelbaatar Ganchimeg 李文秀

2年生 山城時生

【アドバイザー】

手作りお漬物の駅(有限会社ドリーム岩塚)駅長 内藤敦氏
NPO 法人市民協働ネットワーク長岡 高橋秀一氏

越路地域の「まちの駅」をキーポイントとして、マップによる越路の魅力発信

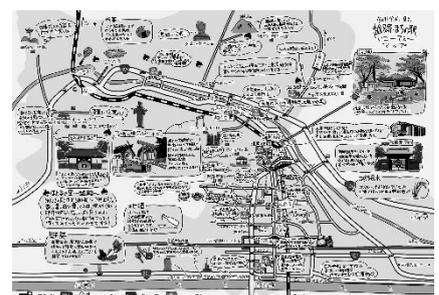
＜取組1＞越路地域の「まちの駅」7駅へのヒアリング調査と周辺情報の収集・整理

越路地域の「まちの駅」へヒアリング調査を行うと同時に、文献などにより周辺の観光スポットや文化財の調査を行いました。



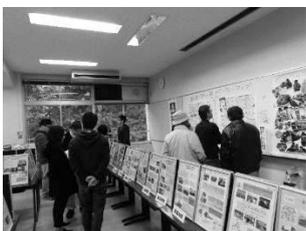
＜取組2＞「食べる！ 学ぶ！ 見る！ 越路マップ・まちの駅 いこーてえーマップ」の制作

マップの制作は紆余曲折があり大変苦労しましたが、最終的には手書きの、学生目線で地域を紹介できるものを制作することができました。



＜取組3＞マップを使った越路の情報発信と地域の方々との交流

マップ配布は、「酒楽の里 あさひ山」「長岡大学学園祭 悠久祭」、「もみじ園」にて実施しました。また、越路地域や長岡地域のまちの駅の方々を中心に多くの方々との交流もできました。



「まちの駅」から越路地域の魅力を発信

鯉江康正ゼミナール

4年生

14K005 池田諒馬 14K013 江口枝里子 14K019 片桐湧太 14K026 木島俊久
14K038 小松綾乃 14K049 須田滉介 14K055 陳奥 14K057 田源一
14K062 中島なつ美 14K063 中曽根湧 14K068 薙澤雄樹 14K079 山崎隼斗
14K082 楊婉蘭 14K084 横田百合江 14K087 鷺尾創太

3年生

15K014 王巍 15K029 加藤茉那
15K059 ジャンガルサイハン・ビャンバトゥブシン
15K061 新保聡 15K062 鈴木絵莉香
15K401 ガントゥムル・ウーガンツェツェグ
15K403 ツォゴ・ムンフザヤ
15K404 フレルバートル・ガンチメグ 15K405 李文秀

2年生

16K071 山城時生

目 次

1. 調査・研究の目的	1
2. まちの駅の概要	2
2-1 「まちの駅」とは	2
2-2 「まちの駅」のシンボルマーク	2
3. 越路まちの駅マップ作成	3
3-1 完成までのスケジュール	3
3-2 ヒアリング調査	4
3-3 マップ作成についての打ち合わせ	6
3-4 越路まちの駅マップ完成	8
3-4-1 表面で工夫した点	10
3-4-2 裏面で工夫した点	13
3-4-3 マップ作成にあたり苦労した点・反省点	15
3-5 まとめ	16
4. 越路地域の魅力紹介	17
4-1 まちの駅（全7駅）とおすすめ周辺観光スポット	17
4-1-1 手作り漬物の駅「有限会社ドリーム岩塚」	17
4-1-2 酒蔵のある里「酒楽の里 あさひ山」	20
4-1-3 ほたる焼きとせんべい薪ストーブの駅「岡鶴堂菓子舗」	23
4-1-4 越後古材「井口製材所」	26
4-1-5 まちの駅 森の仲人「千の森」	30
4-1-6 まちの駅 たちばな「美容院 ビューティーたちばな」	33
4-1-7 まちの駅 越路我龍「ラーメン居酒屋 越路我龍」	36
4-2 まとめ	39
5. 越路まちの駅マップの配布	40
5-1 酒楽の里あさひ山 蛍庵での配布	40
5-2 長岡大学悠久祭での配布	41
5-3 もみじ園での配布	42
5-4 まとめ	42
6. 中間発表会・成果発表会	44
6-1 中間発表会	44
6-2 成果発表会	45
6-3 まとめ	46
7. 越路まちの駅マップ 慰労会	47
8. とりまとめ	50
〈謝辞〉	52
〈参考文献〉	52

1. 調査・研究の目的

まず初めに、鯉江ゼミナールの活動について紹介をする。例年の活動としては、新潟県内のまちの駅のヒアリング調査や情報の発信、地域の活性化に貢献するべくボランティア活動への参加を行ってきた。まちの駅のヒアリング調査と情報の発信に関しては、学生自身でアポイントメントを取り、足を運んで得た情報をもとに、まちの駅の紹介パネルを作成した。この紹介パネルに関しては、毎年情報更新の必要性を確認するための文書を各まちの駅に送り、希望に沿ったパネルづくりを行っている。そして学園祭および長岡市民協働センターでの展示や大学のホームページでの掲載を行っている。ボランティア活動への参加は、毎年まちの駅を通じた地域のイベント（栃尾地域のとうきび観音まつりや見附地域の今町まちなかマルシェ）に積極的に参加し、地域との交流を通して活性化への貢献を試みている。

本報告書を作成した平成 29 年度 12 月時点で、新潟県内の「まちの駅」の開設数は 130 駅である。その中で長岡市越路地域の全 7 駅のまちの駅と連携し、今年度は、新しい活動として越路まちの駅マップを作成した。このマップ作成活動を始めるに至った経緯は、市町村の合併で広がった長岡市および周辺市町村に越路地域の魅力を伝えたいという目的を持った、越路地域のまちの駅の方々の強い思いがあった。観光マップを作るという取り組みは、他県や様々な地域で行われており、地域活性化を推進する重要なツールであると考えられる。そこで、本ゼミナールが例年行っている活動を継続しつつ、マップによる地域紹介という形で地域の活性化への貢献を試みた。この活動を通じて、これからの活動内容を考えるうえで、視野が広がる良い経験であったと感じている。

本報告書の構成は以下の通りである。

第 2 章では、まちの駅の概要や機能、シンボルマークといったまちの駅についての基本的な紹介を行う。

第 3 章では、越路まちの駅マップについての作成過程や仕上がったマップに関して、どのような工夫が施されているのかの説明を行う。

第 4 章では、学生たちが今までの実地調査で得た越路地域の魅力を紹介する。

第 5 章では、越路まちの駅マップを配布したイベントについての紹介や長岡大学悠久祭での活動を紹介する。

第 6 章では、中間発表会・成果発表会の様子と発表した気づきについて述べる。

第 7 章では、越路まちの駅マップ慰労会と題し、これまでのマップ作りの振り返りを行ったことについて紹介する。

第 8 章では、越路まちの駅マップの活動全体をみたとりまとめを行う。

2. まちの駅の概要

第2章では、まちの駅の概要として、まちの駅の説明とシンボルマークについて簡単に説明する（詳しいまちの駅の概要は「まちの駅」の魅力発信と地域活性化への貢献の報告書参照）。

以下の内容は『第20回まちの駅全国大会開催記念誌 まちの駅足かけ20年のあゆみ』（文献4）を参考にまとめたものである。

2-1 「まちの駅」とは

「まちの駅」とは、①休憩機能、②案内機能、③交流機能、④連携機能の4つの機能を兼ね備えた溜まり場である。コンセプトは「道の駅」とあまり変わらないが、公共機関に限らず民間商店やNPO等でも設置、運営できる点が「道の駅」と「まちの駅」の大きな違いである。「全国まちの駅連絡協議会」が認証しているが、条件はゆるく、駅長になる方の地域や人を思う気持ち、「おもてなし」の心を大切にしている。そのため、個人商店や小規模施設から大型店舗や企業の工場、多機能施設など、多種多様な主体が施設（の一部）を休憩・交流スペースとして開放し「まちの駅」となっている。「まちの駅」をきっかけに思いを持った人どうしがつながり、緩やかなネットワークが形成されている。

2-2 「まちの駅」のシンボルマーク（図2-1）

良いまちをつくるためには3人の人が必要だと言われている。俗に、広く周りを見て新しい発見をする人という意味の「よそ者」、真っすぐな気持ちを持ち行動する人という意味の「ばか者」、新しい風を送り込む、元気な人という意味の「わか者」のことである。そこで「まちの駅」のシンボルマークは「3者の人」の中にインフォメーション（情報）の「i」をデザインにしたものとなった。このマークには、いろいろな人が集まり、出会いが生まれ、交流ができる場という意味が込められている。



（図2-1）「まちの駅」のシンボルマーク

3. 越路まちの駅マップ作成

3-1 完成までのスケジュール

ここでは、越路まちの駅マップを作成するうえでのスケジュールについて説明する。越路マップ作りの当初のスケジュールは以下の通りである。

- < 6 月 > 現地ヒアリング調査
- < 7 月 > 情報の共有・打ち合わせ・ラフデザインの作成
- < 8 月上旬 > 修正
- < 8 月下旬 > 校了
- < 9 月上旬 > 印刷
- < 9 月中旬 > 完成

当初ながおか市民協働センターの事務局からいただいたスケジュールを目標に作業に取り組んでいた。しかし、実績は以下の通りである。

- < 6 月 > 現地ヒアリング調査
- < 7 月 > 情報共有・打ち合わせ・ラフデザインの作成
- < 8 月～9 月 > 修正・打ち合わせの繰り返し
- < 10 月上旬 > 校了
- < 10 月中旬 > 印刷・完成

6 月、7 月の段階では順調に進んでいたが、デザインの大幅変更や越路地域の実際の道と MAP 上の道に違いが多く見付き修正の作業に時間をかけすぎてしまった。そのため、当初の予定通りに進めることはできなかったが、ギリギリまで試行錯誤しながら MAP を完成させることが出来た。

当初 11 月の紅葉シーズンに行われるもみじ園でのイベントにて、この MAP を配布することを目標に定めていたため、この目標は達成させることが出来た。

3-2 ヒアリング調査

ここでは、越路まちの駅マップ制作を行う上で必要となる情報源を得るために行ったヒアリング活動について紹介する（図 3-1）。

今回越路まちの駅（全7駅）のご協力のもとマップの制作を行った。

第一段階として、まず越路のまちの駅にヒアリングのアポイントメントを取った。情報の収集を過去に作成した紹介パネルをもとに行ったため、基本情報やまちの駅の特徴の再確認を行った。さらに各まちの駅の駅長さんからマップに載せるための越路と言ったらここという観光スポットや越路を訪れた方々に知ってもらいたい魅力等を伺った。

第二段階として、越路まちの駅の駅長さんからいただいたおすすめ観光スポットの情報と、自分たちがインターネットで調べた場所などをまわった。マップ作りをするうえで大切なことはまず作る側の私たちが越路という地域を知ることである。また今回は学生目線の面白く、楽しいマップを作成してほしいと依頼されたということもあり、私たち自身が楽しくまわることを目標にヒアリングを行った。越路地域は面積が広く、大きく分けて3地域に分かれている。全7駅ある越路のまちの駅はその3地域にそれぞれあるため、その地域の人だからこそ知っているおすすめスポットを聞くことができた。越路に住んでいても行ったことがないところや、存在すら知られていない場所等も知ることができた。おすすめの観光スポットに行くにあたっての下調べを行ったり行った先の人にお話をお聞きしたりといろいろな面からの情報を得ることができたように感じる。

第三段階として、ヒアリングで得た情報をゼミ生で共有した。ただ単にヒアリングに行き終わりというわけにはいかない。自分たちの足でまわり、得た情報をどのようにして学生目線の面白く・楽しいマップに活かすのかを学生たちで話し合いながら載せる情報の選定を行った。取り上げた観光スポットや各まちの駅に対して、学生目線で見た楽しさを簡単に伝えられるような一言コメントを記載した。



(図 3-1) ヒアリングや現地調査の様子

3-3 マップ作成についての打ち合わせ

ここでは、越路まちの駅マップを制作するにあたり依頼者である越路側と制作側である学生との間で行った打ち合わせについて紹介する。

(1) 初回の打ち合わせ（顔合わせ）（図 3-2）

マップを作成するにあたり、まず越路側のまちの駅の駅長さん7名と事務局の方2名、学生6名で越路のまちの駅森の仲人「千の森」にて初顔合わせを行った。名刺交換から始まり、どのようなマップにしたいかなどのお話を伺った。まだ初めましの状態だったため、マップについての明確な話をする事はなかった。

この打ち合わせの後に前節でふれた各まちの駅にヒアリングを行った。



(図 3-2) 初回打ち合わせの様子

(2) ラフデザインについて打ち合わせ（図 3-3）

各まちの駅の駅長さんへのヒアリングで頂いた情報をもとに、学生がマップのレイアウトについてのラフデザインをいくつか作成した。これらを越路の方々と事務局の方に提示し、どのようなマップを作成するのかを話合った。いざラフデザインを作成してみるとマップの方向性が見えてきたように感じた。学生それぞれが考えたラフデザインであったため、この人とこの人のデザインを組み合わせたデザインがいいなどの意見が出た。一人で作るというのではなくいろいろな意見が交ざり合うことでいいものが完成するのだと改めて感じる打ち合わせとなった。



(図 3-3) ラフデザインの打ち合わせの様子

(3) 中間報告打ち合わせ (図 3-4)

ラフデザインが決まったことで制作側である学生側の作業が始まった。Google マップや、Yahoo マップを参考に越路の道を書き始めたが、越路の実際の道を知る学生が今年の鯉江ゼミナールには存在していなかったため、一番苦勞する点となった。打ち合わせの際、越路の人に作成した越路の道を見てもらうとココが違う、ココも違うと次々と修正点が出てきてしまった。また越路まちの駅マップを作成するにあたり、私たち学生は越路の観光もしっかりと盛り込んだマップを制作していたが、一部の越路まちの駅の駅長さんから、まちの駅が目立たなく、今まで存在していたマップと変わらない、という指摘を受け、ある程度完成していたマップを大幅に変更することとなった。



(図 3-4) 中間打ち合わせの様子

(4) 最終打ち合わせ (図 3-5)

道やデザインなどがほぼ確定となった段階で、マップを印刷する紙についての打ち合わせを行った。紙にもいろいろあり肌触りや厚さなど細かいことを越路側の人と学生とで話し合い決めた。



(図 3-5) 最終打ち合わせ

多くの打ち合わせをすることで、より良い越路まちの駅マップが完成した。

マップにて表記される文字は、細部に至るまで全て手書きである。文字を手書きにすることでマップの印象を柔らかくした。また、マップに載せる各観光場所はあえて写真ではなく、イラストにした。

マップは折る数によってサイズを調節できるデザインになっており、置く場所のスペースに合わせてサイズを変更できる（図 3-8）。



（図 3-8）左：ハガキサイズ 右：A4サイズ

越路まちの駅マップを制作する上で、「見てもらう」「使いやすい」ことを意識し、表面と裏面に工夫を凝らした。以下表面で工夫した箇所を説明する。

3-4-1 表面で工夫した点

(1) 表紙への工夫

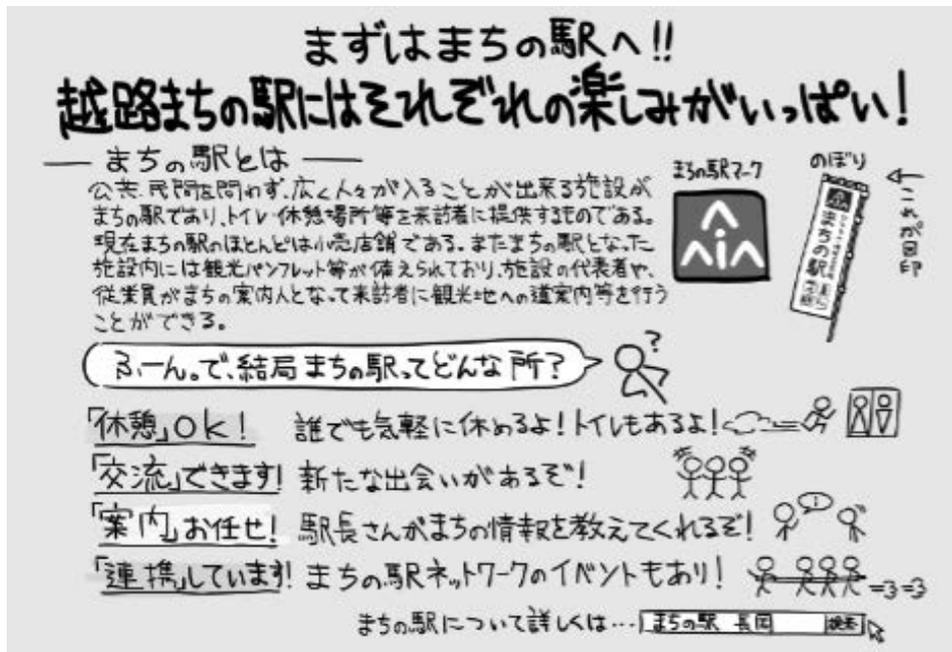
表紙はマップの顔となることから、目につきやすく越路をアピールできる表紙になるように試行錯誤を重ねてデザインした（図 3-9）。



（図 3-9）表紙完成までの流れ

(2) まちの駅の紹介・説明

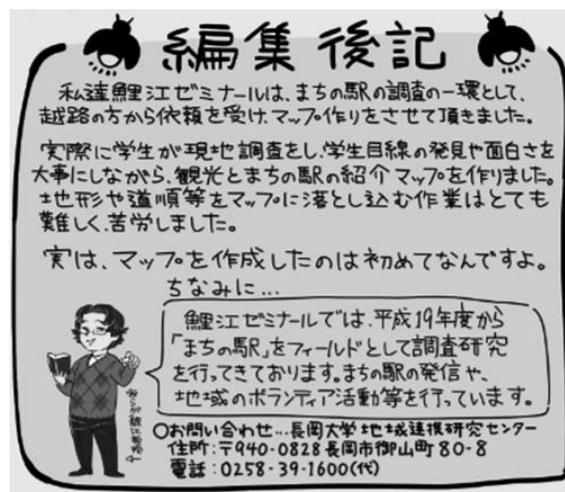
今回制作したマップは、越路の観光を紹介するマップであると同時に、まちの駅を紹介するマップでもある。まちの駅を知らない人にもまちの駅を知ってもらうために、まちの駅の4つの機能やマーク、のぼりの説明も入れた(図3-10)。



(図3-10) まちの駅の説明

(3) 編集後記

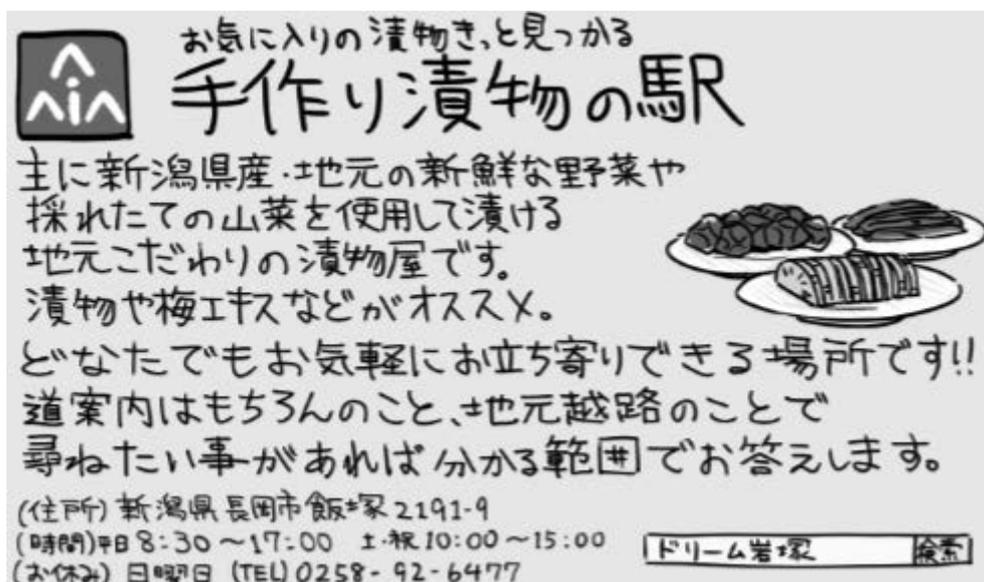
編集後記として鯉江ゼミナールの紹介を記載した。ここでは鯉江ゼミナールの簡単な紹介と、マップを制作する経緯を鯉江康正教授の似顔絵イラストと共に紹介した。鯉江教授の似顔絵イラストに対し、一部の方から「こんなにかっこよくない」や「若々しく描きすぎ」などの指摘を頂いた。しかし鯉江教授本人や鯉江ゼミ生、描いた本人も似顔絵イラストについては自信作であり、鯉江ゼミ一同大変満足している(図3-11)。



(図3-11) 鯉江教授の似顔絵付き編集後記

(4) 各まちの駅のキャッチフレーズ

各まちの駅の駅長さんから、自身の駅の概要や特徴を紹介するコメントを頂き、各まちの駅を表すイラストと共に掲載した（図 3-12）。また駅名の上には学生が考えたキャッチフレーズを表記した。そうすることで、裏面のマップにも同様に記載しているキャッチフレーズと照らし合わせられるようになっている（図 3-13）。



(図 3-12) 駅長さんによるコメントと学生によるキャッチフレーズ



(図 3-13) 裏面マップ上にもキャッチコピーを掲載し、リンクさせた

3-4-2 裏面で工夫した点

(1) 道路表示の工夫

裏面のマップ部分では、越路を車で訪れる方が多いと知り、車で越路に訪れやすい越路橋を入口としたデザインに仕上げた（図 3-14）。国道等の主要な道路を太く記載して、信号の表記を目立たせた（図 3-15）。



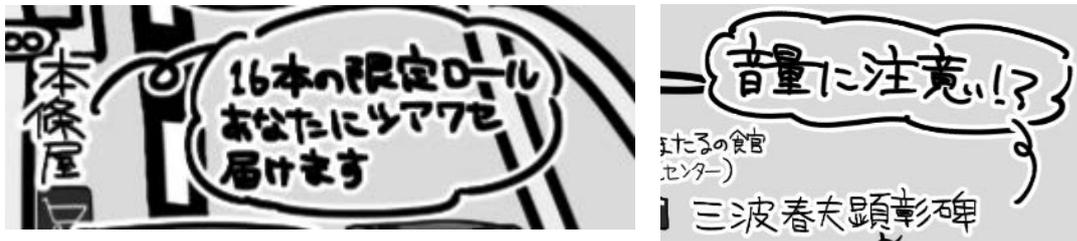
(図 3-14) メインの入り口に越路橋



(図 3-15) 主要の道路は太く記載

(2) 学生のコメント

越路の観光スポットには学生の感性を盛り込んだコメントを吹き出しで表記した。コメントを読んだ人がその場所に興味を持ち、行きたくなるようなもの考えた（図 3-16）。



(図 3-16) 学生による各スポットへのコメント

(3) 観光スポットのイラスト

観光場所や飲食店、お土産屋などアイコンで表し各施設がどういった場所なのか一目でわかるようにした（図 3-17）。また越路を代表する観光スポットのイラストは大きく記載し、存在感をアピールした（図 3-18）。



(図 3-17) 各施設のアイコン



(図 3-18) 観光スポットのイラスト

3-4-3 マップ作成にあたり苦勞した点・反省点

この項目ではマップ制作で苦勞した以下の5点について述べる。

- ① まちの駅の情報と越路観光案内のバランス
- ② 道の正確性
- ③ 過密なスケジュール
- ④ 少数の学生への負担
- ⑤ 学生らしさ

① まちの駅の情報と越路観光案内のバランス

マップ制作を進めていく中で、学生側と越路側で認識の違いが生じ途中大幅にマップを変更するというトラブルが生じた。当初学生は、越路の観光スポットをメインとしたマップ作りをするという認識でマップ制作を進めていたが、途中経過を報告するための打ち合わせの際、越路側から「まちの駅紹介のマップではなく、ほぼ観光のみのマップに見える。まちの駅の要素をもう少し足してほしい」という意見が出た。その場で改めてマップの構成について話し合い、お互いが納得のいく方向へとマップを再構築していった。この件に関しては、マップの役割についての情報や認識の共有ができなかったことがトラブルの原因だと感じた。共同作業においては情報共有が要となる。こまめな報告をしあう事が大切だと思った。

② 道の正確性

マップ制作において、道順の正確性には大変苦勞した。A3のサイズという限られたスペースの中で、コメントやイラストなどを挿入する関係上、縮尺が実際の道と異なるのは仕方がないが、実際の道筋と異なり、マップの通りに行っても目的地に着かないような道順の表記ではマップとして機能しない。学生なりに細心の注意を払いながら正確な道を調べ、マップに書き起こしたつもりだったが、越路のまちの駅の駅長さんから道の間違いを何度も指摘され、度重なる修正を行った。

③ 過密なスケジュール

納期までのスケジュールの関係上、ヒアリングの調査にあまり時間を割けずにマップ制作に移行してしまった。ヒアリング調査は活動の基盤となり、完成度にも影響するため、もっと情報を集めることに力を注ぐことが出来ればよかったと感じた。

④ 少数の学生への負担

今年度の鯉江ゼミナールは、メインであるまちの駅の調査研究をするグループと越路まちの駅マップを制作するグループの二手に分かれて活動を行った。越路まちの駅マップに携わった中心メンバーは5人であり、5人で作業を分担するにしても一人当たりの作業量が多かった。そのため、夏季休暇期間中であっても毎日のように朝から夕方まで大学へ通い作業を進めた。また今回制作したマップはすべて手描きであるが、それらはパソコンによって描かれている。描く機材は一人の学生の私物であり、ゼミ生全員が扱うには慣れが必要であった。さらに機材は1台しかないため、マップ上で道やイラスト・コメント等を描くのは、持ち主である学生が作業を担った。効率化のための機材導入は結果として持ち主である学生に作業が集中してしまい、かえって非効率となってしまった。

⑤ 学生らしさ

越路まちの駅マップに求められた「学生らしさ」を、どう解釈したら良いのか苦労した。今までにない越路のマップを制作したいという強い要望から、既存のマップには無い新しい要素や学生らしい柔軟な考え方を期待されていた。

しかし、自分たちが制作したマップが世に出るとなると、どうしても考え方が固くなってしまふところも、制作過程で出てきてしまった。もっと学生らしさを前面に出してもよかったと振り返る。今回初めてのマップ制作だったため、この点については次回改定版で活かしたい。

3-5 まとめ

本章では完成したマップを掲載し、工夫した点や苦労した点について述べてきた。

自分たちで越路地域の調査から構成を考え、大幅な作り直しや度重なる修正、スケジュールの遅れなどの苦労もあったが、活動を通して1から自分たちで創りあげていく楽しさや大変さを身に染みて感じる事ができた。完成したマップをご覧になった越路の方々に大変喜んで頂いたことで作ったことの達成感を得ると共に、活動を通じて後輩とも仲を深めることが出来た。さらに地域の方々との交流を広めたことで新たな人脈を得ることができた。そのため、この活動の集大成である越路まちの駅マップを作りきることができて良かったと感じている。

4. 越路地域の魅力紹介

ここでは前項で述べたマップ作成で得た情報をもとに、越路地域のまちの駅（全7駅）とその周辺のおすすめ観光スポットを併せて、越路の魅力を紹介する。

越路地域は大きく分けて「来迎寺」・「越後岩塚」・「塚山」の3つの地域から成り立っている。越路地域は広範囲にわたるため、以下の項目ではこの3地域を基準に紹介する。各まちの駅および周辺観光スポットがこれらのどの地域に所在しているのか明記しながら紹介していく。

4-1 まちの駅（全7駅）とおすすめ周辺観光スポット

ヒアリングに行ったまちの駅とその周辺観光スポットを、以下7駅分に分けて紹介する。「まちの駅概要」、実際に伺った際に感じた「学生ヒアリングメモ」、「おすすめ周辺観光スポット」の3つの項目で紹介していく。

4-1-1 手作り漬物の駅「有限会社ドリーム岩塚」

(1) まちの駅概要

「手作り漬物の駅」（図4-1）は越後岩塚地域にあり、JR越後岩塚駅から約徒歩5分のところに位置しています。創業33年で、主に新潟県内で採れた野菜を使ったこだわりの手作りの漬物を販売しているまちの駅です。こちらのまちの駅の駅長さんは落ち着いて優しい口調の方で、道案内はもちろんですが、地元越路についても気軽に尋ねることができます。

駐車場も比較的広く、車での利用でも問題なく訪れることができます。休憩機能よりは、情報発信に力を入れている印象です。



(図4-1) 手作り漬物の駅「有限会社ドリーム岩塚」

(2) 学生ヒアリングメモ

- ・ 地元に根付いた雰囲気のある漬物屋でした。
- ・ おすすめ商品は甘酢大根と白菜キムチです。ご飯がとまらない絶品の漬物です。
- ・ 看板商品でもある新潟県産「藤五郎梅」を使用した濃縮果汁エキス「梅エキス」は

口当たりがよく、程よい酸味でとても飲みやすいです。美容効果も期待できるようです。

(3) おすすめ周辺観光スポット：宝徳山稲荷大社（長岡市飯塚 870）（図 4-2）（文献 3）

縄文時代から建てられたという「宝徳山稲荷大社」は、越後岩塚地域にあり、迫力のある大きい朱色の大殿堂が目印です。その迫力のある大きさは、まさに越路を代表する観光スポットであり、全国から参拝者も訪れています。

宝徳山稲荷大社は、古記録によると、殷帝大王（いててのひみこ）の命により、物部美万玉女命（もののべのみのおひめのみこと）が瓊名（ぬな）の里に日の宮のみやしろ（現奥の宮）を建設した時より、連綿として今に至ると言われております。瓊名の里はその後、朝日長者ヶ原、太田乃庄と呼び名が変わり、現在は越後原となっております。

持統天皇の御代、久辰稲輿玉女命（くしいなごしひめのみこと）は、奉幣使が来越した折に、日の宮の改築を請願し、勅許を得て社殿を造営しました。

これにより越国五十六座の第一等社として「越国総鎮守一ノ宮」の格式を賜りました。後白河天皇の御代、大地動があり、世相が騒然となったことから、神座の安泰を祈念せよとのご神託を受け、日の宮を中之岳へ遷宮、文政年間、再び神勅を仰ぎ現奥宮に遷座いたしました。

その後昭和 28 年に奥宮より神明山（現在の宮）に遷座し、昭和 49 年に内宮殿が、昭和 54 年に本宮殿が建立され、平成 5 年には朱塗りの奥宮大聖堂が完成し、今日に至るまで、越国を始め全国各地の信者・崇敬者から多大なる信奉を受ける、一大信仰の殿堂として鎮座しております。

実際に足を運ぶと、別世界のような世界観が伝わること間違いなし。駐車場も広く完備されているので、車での観光も問題なく訪れることができます。また、JR 越後岩塚駅からも近いため、交通の便は問題ありません。



（図 4-2） 宝徳山稲荷大社

(4) 手作り漬物の駅「有限会社ドリーム岩塚」のパネル

作成したパネルは、図 4-3 のとおりである。



手作り漬物の駅 【(有)ドリーム岩塚】

地域の食材を使った 「かあちゃんの手作り」

宝徳山稲荷大社のすぐ近くにあるドリーム岩塚さん。地元の農家(約20軒)から買い取った野菜を多く使用した漬物や、梅干、梅エキスなどの製造、販売をしています。手作りで漬け、保存料・着色料などの添加物を使用していません。

漬物は大根やズイキの甘酢漬け、わらび醤油漬けみょうが味噌浅漬けの他に、季節の漬物やこだわりの漬物があります。商品は見ているだけでご飯が食べたくなりますよ！



柔らかさを活かした「十全なす浅漬」

梅エキスと梅ぼし (梅エキスは、新潟県産藤五郎梅を使用)



まずは自分で 料理をしてみたい

駅長の内藤 敦さんは「若い人は、うまい、まずいに関係なく、まずは自分で料理をしてみたい。作物を作ってみて欲しい。そうすると、食べ物のありがたみがわかる。」とおっしゃっていました。ホームページではそんなドリーム岩塚さんの思いが伝わります。今後は若者に漬物の漬け方を教えたりしたい、とおっしゃっていました。

梅エキスは、新鮮な青梅を穀物酢やオリゴ糖などに漬け込んだ天然搾りの梅果汁です。

◎クエン酸が豊富 ◎オリゴ糖使用でお腹に優しい！
4倍に薄めて飲んだり、牛乳や焼酎の水割りもおすすです。お料理にも使えます。

梅干は昔ながらの塩分少なめ、漬け込み塩分10%です。この梅干、実は昔のある出来事から誕生しました。

気になった方はホームページの梅干誕生秘話をご覧ください！

梅の汁をじっくり煮込んで作った梅肉エキスもあります。昔はこのあたりの地域では薬代わりに舐めていたそうです。



Data
〒949-5414 長岡市飯塚 2191-9
TEL: 0258-92-6477
FAX: 0258-92-5105
開業時間: 8:30~17:00(月~金)
10:00~15:00(土・祝)
お休み: 水曜日
URL: <http://www.d-iwatuka.co.jp/>

学生のつぶやき

「旬の作物」が美味しい理由は、「作物がストレスのない環境で育つから」というお話など、ヒアリングを通じて漬物に対する強い気持ちを感じました。

江口枝里子

平成29年度編集

(図 4-3) 手作り漬物の駅「有限会社ドリーム岩塚」のパネル

4-1-2 酒蔵のある里「酒楽の里 あさひ山」

(1) まちの駅概要

「酒蔵のある里」(図 4-4) は越後岩塚地域にあり、蔵元朝日酒造の本社の前にあるまちの駅です。朝日酒造の直売所でもあり、比較的地元の人よりは、全国から訪れる朝日酒造への観光客や見学者が多く訪れる場所となっています。お酒好きなら絶対行かなくては損になってしまう程、酒蔵スイーツや酒の肴も多く取り揃えられています。駅長さんは、気さくな方で越路の案内はもちろんです、朝日酒造についても尋ねることができます。

こちらのまちの駅も、駐車場が完備されているため車での利用も適していますが、周辺にもみじ園や松籟閣などの観光場所もあるため、歩いて立ち寄る人も多いようです。トイレや休憩場がきれいに設置されているため、休憩機能に適したまちの駅です。



(図 4-4) 酒蔵のある里「酒楽の里 あさひ山」

(2) 学生ヒアリングメモ

- ・ 店内がとてもきれいでずっと居たくなるような空間でした。
- ・ 正面に入ったらすぐ迎えてくれる、和の雰囲気漂うお庭はきれいでした。座って眺めてもよし。
- ・ 併設されているレストラン「蛸庵」では、落ち着いた空間の中で地元野菜を使った贅沢な料理にとっても満足した。

(3) おすすめ周辺観光スポット：松籟閣 (長岡市朝日 980) (図 4-5) (文献 1)

「松籟閣」は昭和初期、朝日酒造の創業者である平澤與之助が建てた住宅で、越後岩塚地域にあります。和洋折衷の造りが特徴的で、平成 15 年には国登録有形文化財に指定されました。おすすめの観光順路としては、朝日酒造の創業者が暮らした住宅の歴史を味わい、隣接する朝日酒造の本社見学で作り上げられるお酒の魅力に触れ、そのお酒を使った商品を販売している「酒蔵のある里」に行くことがおすすめです。

ちなみに、松籟閣の松籟とは松の梢を吹く風の音のこと。伝統的な日本家屋に、アールデコ様式の丸窓やスタンドグラスなどの装飾を採り入れています。

平成 13 年 (2001 年) に製品倉庫建設に伴い曳家で移築し、現在は茶会をはじめ、各種

文化活動の拠点として活用されています。こちらにも駐車場が完備されているため、車での観光も問題なくできます。



(図 4-5) 松籟閣

(4) 酒蔵のある里「酒楽の里 あさひ山」のパネル

作成したパネルは、図 4-6 のとおりである。

越路 地域

酒蔵のある里

さら

〔酒楽の里 あさひ山〕



〒949-5412 長岡市朝日584-3
TEL/0258-92-6070
FAX/0258-92-6192
開業時間 10:00~19:00
お休み 元旦のみ
URL:
<http://www.asahi-shouzi.co.jp/>

お店に入ってすぐに目に入るのは四季を感じる庭が見えてきます。



落ち着いた雰囲気の内には朝日酒造のお酒から越路産の食材、お酒を使ったお菓子、米菓子が取り揃えてあります。

限定純米吟醸酒「勝保」
(勝保は米の生産地の名称)
直営店のみで販売しています。



お店紹介

お店の名前である「酒楽の里」とは、**お酒を楽しんでもらえる**ように名づけました。

店内には、酒はもちろんですが酒を使ったお菓子や、越路産の食材が売られています。お酒(朝日酒造)の種類も多く、試飲(有料)もできます。

お客さんに日本酒の美味しさを説明して、気に入ったものを購入してもらるようにしています。

お店の方に何か伝えたいメッセージはありますかとお聞きしたところ、「**若者に日本酒の良さを知ってほしい!**」とおっしゃっていました。

お店の近くにあるもみじ園は、長岡屈指の紅葉スポットです。秋には是非、紅葉狩りにどうぞ。



学生のつぶやき

お店に入ると季節を感じることでのお庭と開放的なラウンジが目の前に広がります。

店内には、お酒がよく分からない人でも楽しめるように各お酒の味の特徴が分かりやすく紹介しています。お酒以外にも地酒ゼリーという変わったものもありますので是非行ってみたいかがでしょうか。

西山和之

平成29年度編集

(図 4-6) 酒蔵のある里「酒楽の里 あさひ山」のパネル

4-1-3 ほたる焼きとせんべい薪ストーブの駅「岡鶴堂菓子舗」

(1) まちの駅概要

「ほたる焼きとせんべい薪ストーブの駅」(図 4-7) は越後岩塚地域にあり、岩塚製菓沢下条工場の目の前に位置しています。昨年リニューアルオープンしたこちらのまちの駅は、岩塚製菓の米菓やいわゆる B 級品であるこわれせんを直売で販売しており、地元長岡市のお客さんが多く利用しています。米菓以外にも 13 種類のソフトクリームや看板商品(季節限定商品)である北海道小豆自家製あんを使用した「ほたる焼き」というホタルの形をした焼き菓子も大人気です。また、駅名にもある今では珍しい薪ストーブが迎えてくれ、焰と共にゆったり過ごしてみるのもおすすめです。

駅長さんは非常にやさしい人柄で、地元越路に詳しい方ですので、気軽になんでも尋ねることができます。こちらにもトイレや休憩場所が完備されていることから、休憩機能に適したまちの駅です。



(図 4-7) ほたる焼きとせんべい薪ストーブの駅「岡鶴堂菓子舗」

(2) 学生ヒアリングメモ

- ・ 立ち寄った際はぜひ、トイレに行ってみてください。蛇口にびっくりしますよ。
- ・ 薪ストーブはインスタ映えすること間違いなし。
- ・ こわれせんのお買い得感に大満足。こわれていても味は、一級品です。

(3) おすすめ周辺観光スポット：越路琴製材組合 (長岡市沢下条字諏訪平) (図 4-8) (文献 10)

日本で数少ない琴の製材所である「越路琴製材組合」は、越後岩塚地域にあります。お問い合わせで実際に工場内を見学できるため、ぜひおすすめです。また、琴を製造している姿はなかなか見られないため必見です。

箏、琴とも表されるこの十三絃の楽器は、奈良時代に唐(中国)より雅楽の楽器の一つとして伝来しました。琴の音楽は室町時代末期に筑紫流として大成します。筑紫流はその後八橋流を経て生田流、山田流を生み出しました。十八世紀に江戸の山田検校が、それまで三味線の伴奏役であった琴を主楽器として作曲したのにあわせて、琴師重元房吉が楽器の改良をおこない、琴の長さを六尺とし、厚みもそれまでのものよりも厚く、また縦方向

のそりも強くして音量の増加を図り、なおかつ琴爪を大きくして音質も明瞭になりました。これが山田流の原型で、現在では山田流、生田流を問わず山田琴が使用されています。材質は日本の会津産のものが最高とされ、樹齢 40～50 年位、直径 40 cm 以上の桐を使用して中を割り抜く方法が音質も最高とされています。こちらの越路琴製材組合では、会津桐をはじめ、品質の高い越後桐を使用しています。

職人が一つ一つ丁寧に手作業で製作しているため、見学の際には貴重な職人技が見られるかもしれません。こちらも駐車場がしっかり完備されていますので、車での観光も問題なくできます。

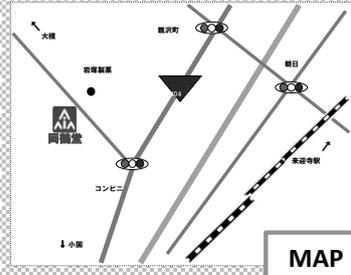


(図 4-8) 越路琴製材組合

(4) ほたる焼きとせんべい薪ストーブの駅「岡鶴堂菓子舗」のパネル
作成したパネルは、図 4-9 のとおりである。

越路
地域

ほたる焼きとおせんべい薪ストーブの駅 【岡鶴堂菓子舗】



看板娘の
あんこ
ちゃんです♪



〒949-5413 長岡市沢下条488-2
TEL/FAX: 0258-92-4963

開業時間: 9:00~18:00 (平日)
9:00~17:00 (土・日・祝日)
お休み: 水曜日



「ほたる焼き」
1個130円

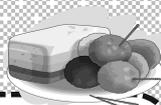


出来たて米菓 の 直販所！！

岩塚製菓の工場がスグ目の前！
出来たての米菓を直販しています♪♪♪



アイスがうまい！
味の種類は13種類♪



数十種類の様々なお菓子が袋詰めされて売っているよ♪
また、スーパーなどにあまり出回らないおせんべいが
ココにはあるかも・・・？
しかし！！
直売所で人気でも、全国的に人気がなくなれば生産中止
なんてことも・・・

学生のつぶやき

2016年9月にリニューアルオープンし、とても綺麗な店内でした。
お手頃価格なせんべいの他、ジェラート等もあります！
トイレの蛇口はとてもユニークなので、是非一度、見るべし！

江口、中曽根、鷺尾

平成28年度編集: 江口枝里子

(図 4-9) ほたる焼きとせんべい薪ストーブの駅「岡鶴堂菓子舗」のパネル

4-1-4 越後古材「井口製材所」

(1) まちの駅概要

「越後古材」(図 4-10) は塚山地域にあり、国道 404 号線沿いにある広い製材所が特徴です。こちらのまちの駅は、古民具・蔵戸・古建具・古材等の時代家具の買取販売を専門に行っています。

敷地内に、12 ヲ所も倉庫があるためその大きさ、広さは圧巻です。古民家等から出る古材を、関東を中心に全国へ古民家風家屋や店舗の建築資材として販売も行っており、たびたびメディアでも取り上げられています。

10 台以上止められる駐車場も完備しているので、車での利用にも適しています。見学も無料のため、誰でも立ち寄れるという意味では、休憩・交流機能を持ったまちの駅です。さらに、知名度も高いため、このまちの駅自体が地域の情報発信機能を持っていると言えます。



(4-10) 越後古材「井口製材所」

(2) 学生ヒアリングメモ

- ・ 博物館的な感じで気軽に立ち寄ってみるのもおすすめです。
- ・ 宝探し気分になる！懐かしい家具、雑貨も販売しているので、掘り出し物に出会えるかも。
- ・ 学生でも買えるリーズナブルな値段の商品が多いのがうれしい。

(3) おすすめ周辺観光スポット

(3-1) 長谷川邸 (長岡市塚野山 773-1) (図 4-11) (文献 2)

越路を代表する観光場所の「長谷川邸」は、塚山地域にあり、敷地は街道に面した間口約 70 メートル、奥行き 120 メートルと広大なもので、周囲に濠をめぐらせているのが特徴です。

長谷川邸は、武士の出身といわれる長谷川家が塚野山に居を構えたのは江戸時代の初めの頃であり、以来山村地主としての地位を固め、代々庄屋を務めてきました。幕末から明治にかけては近郊 4 か村の耕地や山林の 7 割を独占し、180 町歩余の田から 4000 俵もの小作料をあげた豪農です。

主屋は宝永3年（1706）の大火で類焼し、享保元年（1716）に再建されたと伝えられています。なお、長谷川家収蔵品展示室では、谷文晁、奥原晴湖などの長谷川家に伝わる書画や調度品などが展示されています。邸内には県内最古の豪農の館であることを示す建築様式が随所にみられます。また、漫画「るろうに剣心」の作者が越路出身のため、建物内には「るろうに剣心」にまつわるパネル展示や、原画展も行われており、「るろうに剣心」ファンも訪れる観光場所となっています。

こちらにも駐車場が完備されている他、国道404号線の道中にも看板もあるので、訪れやすい場所となっています。



（図 4-11） 長谷川邸

（3-2）昔ばなしとほたるの館（長岡市塚野山 5141）（図 4-12）（文献 2）

「昔ばなしとほたるの館」は、長谷川邸の隣にあり同じ塚山地域にあります。こちらでは、民話やホタルの生態や観光施設などの紹介が行われています。民話の昔ばなしでは、語りべ（おばあちゃん人形）が、その土地の言葉と独自の口調で語っている映像とアニメーション映像で鑑賞することができます。

さらに、同施設内では「ふるさとと三波春夫展」として旧越路町の出身・名誉町民である国民的歌手の「三波春夫」の記念館があり、当時のレコードやパネルで「三波春夫」の生涯を知ることができます。また、外には三波春夫顕彰碑があり、実際の歌声が聞ける音声付きの機能もあり、聞いてみることをおすすめします。

こちらは、長谷川邸と同じ駐車場になりますので、長谷川邸とともに是非立ち寄ってみてください。



(図 4-12) 昔ばなしとほたるの館 三波春夫顕彰碑

(4) 越後古材「井口製材所」のパネル

作成したパネルは、図 4-13 のとおりである。

越路
地域



～井口製材所～
越後古材
積雪を耐え抜く良質な古材

越後古材について



古民家等から出る古材を使って関東を中心に全国へ古民家風家屋や店舗の建築資材として販売しています。

新潟県の古民家の特徴として、積雪が多くそれに耐える古材がある、ということが挙げられます。井口製材所は、新材、古材、古民具・古建具といった取り扱い部門があります。幅広い材木、古民家解体時に出た風情ある雑貨等を取り揃えています。

古民家を丁寧に解体し、一棟丸々を移築して販売する移築販売、加工して1部分だけ販売するパーツ販売というものもあります。

越後古材でできること



・無料で見られる博物館・資料館

古民具は昔懐かしいものから貴重なものまであります。度々入れ替わるので何度来ても新しい発見があります。

・掘り出し物を安く購入

食器なら安いもので50円ほどで購入できます。思わぬ掘り出し物が見つかるかもしれません。

・敷地内ガイド

所内にある立派な古材・古民具・古建具などを見学・購入ができます。

駐車場近くの倉庫(2番倉庫)内黒板に書いてある電話番号に連絡してください。

Data

〒949-5416

長岡市不動沢568-1

TEL/0258-92-2357

FAX/0258-92-3419

営業時間/9:00～17:00

お休み/4～11月 平日営業・土日祝祭日不定休

12～3月 平日のみ営業

(電話でお問い合わせください)

URL/ <http://www.echigokozai.com>



Googleマップより



学生のつづやき

ノスタルジーに浸れる場所です。古民具は使い次第でピカイチのインテリアに...!
須田

平成29年度編集

(図 4-13) 越後古材「井口製材所」のパネル

4-1-5 まちの駅 森の仲間「千の森」

(1) まちの駅概要

まちの駅森の仲間「千の森」(図 4-14)は来迎寺地域にあり、越路橋を降りたすぐ近くにあります。長岡から越路地域を訪れる人の多くは越路橋を利用するため、比較的訪れやすい場所になっています。こちらでは、カフェやホール、和室や図書室等、文化系から体育会系までさまざまな用途で利用されており、子どもからお年寄りまで幅広い年代の方が訪れています。敷地面積約 300 坪程の広い土地に建つ、改装した古民家で、何でもやっちゃう明るい気さくな駅長さんが特徴です。

こちらのまちの駅は少々駐車場が狭いため、台数に限りがありますが、車での利用は可能です。幅広い年代あるいは地域の方が集う場所になっていることから、交流機能に特化したまちの駅です。さらに地域の情報も発信していることから、情報発信機能にも力を入れているまちの駅だといえます。



(図 4-14) まちの駅 森の仲間「千の森」

(2) 学生ヒアリングメモ

- ・ 看板猫の「クロちゃん」がとてもかわいかった！
- ・ おしゃべりな駅長さんが非常に明るく、元気をもらえた。
- ・ とにかく広くて、ココで暮らしたいと思うくらい羨ましかった。

(3) おすすめ周辺観光スポット：越路河川公園 (長岡市浦 6280) (図 4-15) (文献 2)

「越路河川公園」は越路橋のたもとに位置する 10 ヘクタールの公園で、来迎寺地域にあります。園内は野球場やテニスコートのスポーツ施設や、釣りのできる池、芝生広場、コンビネーション遊具の広場があり、いろいろな目的で楽しむことができます。野球場やテニスコート、多目的広場を利用することも可能です(受付は浦体育館)。

また、信濃川の土手沿いにあるためウォーキングコースとしても最適な場所となっています。写真にもある通り、大学生でも童心に返って遊んでいます。少し外で気持ちよく遊びたいときや、汗を流したいときには、若者に限らずどんな年代の方も、訪れてみてはいかがでしょうか。天気の良い日には最高の場所です。

こちらも駐車場が完備されているため、車での訪問も問題ありません。

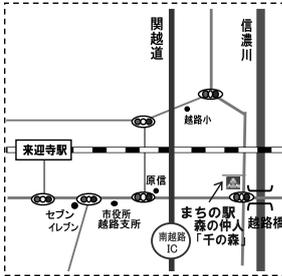


(図 4-15) 越路河川公園

(4) まちの駅 森の仲間「千の森」のパネル
作成したパネルは、図 4-16 のとおりである。

越路 地域

まちの駅 森の仲間「千の森」



- 千949-5406
- TEL:080-4085-1001
- FAX:0258-92-3520
- 新潟県長岡市浦6349
- 営業時間 9:00~20:00
カフェ営業時間 11:00~20:00
- お休み 不定休
- URL :
<http://www2.nct9.ne.jp/sennomori/>

まちの駅紹介

千の森は、敷地面積300坪に建てられた一般住宅を改装した、自由に出入りができるカフェとカルチャー教室等を併設したまちの駅です。

広さ約40畳の多目的ホール、和室、貸しスタジオを借りることもできます。バンド練習からダンスの練習、音楽発表会の場として広く利用されています。また琴、フルート、ピアノ、チェロ、民謡、ギター、三味線などの音楽から空手、太極拳、書道、折り紙、ピーズ教室、着付け、英語、韓国語などのさまざまな教室も開いています。またエステやヘア染、心理カウンセリングも行っています。

子どもたちを対象に、「生きる力をつける教室」をテーマに、「なんでき塾」を開催しています。ここでは、論語や学んだら偉人の生き方を通して、子どもの力をより伸ばせるようにサポートをしています。興味を持たれた方は、是非、千の森に見学にうかがってみては、いかがでしょうか。



庭には実のなる木や香りのする木など様々な植物が植えられています。



和室では、琴や書道教室などを行っています。



広さ約40畳の多目的ホール



ピアノのレッスン中



看板猫のくろちゃん

カフェでは、カレー、トースト、ケーキ、紅茶、ジュースJWTなどの飲食もできます。地域の人の手作りによる手芸品や自作音楽CDなども販売しています。



駅長さんと一緒に記念写真

学生のつぶやき

とにかく職業や年齢にかかわらずいろいろな方が訪れていてまちの駅の原点的な意味でもある「交流の場」になっていると感じました。また、「第二の千の森」である我龍もオープンしたので今度行ってみたいと思います。
14K084 横田百合江

平成29年度編集

(図 4-16) まちの駅 森の仲間「千の森」のパネル

4-1-6 まちの駅 たちばな「美容院 ビューティーたちばな」

(1) まちの駅概要

「まちの駅たちばな」（図 4-17）は来迎寺地域にあり、たくさんのお花が目印の美容室です。こちらのまちの駅は、「キレイと元気の拠点」であり、明るくて優しい駅長さんが迎えてくれます。また、美容院ですが手作りのドライフラワーや小物も販売しています。美容院の利用以外にも、お向かいの歯科医院に通う方や、少し立ち寄って気軽に休憩される方などにも利用されており、地域の方々に愛されている場所となっています。

美容院で比較的近隣の方が利用するため、駐車場はそれほど広くないですが3台ほど停めることが可能です。休憩や交流機能が優れているため、まちの駅の原点的な場所となっています。トイレにも手すりがあり高齢者の方々にも対応していることや、越路地域の観光案内も行えることから、まちの駅の機能としては十分に備わっていると思います。



(図 4-17) まちの駅 たちばな「美容院ビューティーたちばな」

(2) 学生ヒアリングメモ

- ・ 明るくてとても元気な駅長さんから元気をたくさんもらえた！思わず、時間を忘れてしまいました。
- ・ 昨年に改装し、店内も駅長さんみたいにきれいだった。
- ・ 店内はお花で囲まれていて、可愛かったです！

(3) おすすめ周辺観光スポット：もみじ園（長岡市朝日 600）（図 4-18）（文献 2）

紅葉シーズンには市内外、あるいは県外からも観光客が訪れる程の越路を代表する観光場所「もみじ園」は、来迎寺地域に所在しています。もみじ園は、平成元年 11 月に旧越路町に寄付され、同年もみじ園としてオープンした場所ですが、従来は明治 29 年頃神谷の大地主、旧高橋家の別荘の庭園として造られたものです。約 4 千平方メートルの敷地内には、樹齢 150～200 年のもみじや山桜、カエデ類、ツツジなど多くの植物が植えられています。最も多く植えられているイロハカエデは、北から九州地方の太平洋側に野生するモミジの一種で、高橋家が事業の活動の場であった京都から優れた品種を移植したものであると考えられます。

もみじ園と言えば、秋の紅葉シーズンをイメージする方も多いと思いますが、春・夏は「緑のもみじ園」、冬は「白のもみじ園」が楽しむことができます。秋のもみじ園以外のシーズンにも訪れてみると違ったもみじ園が楽しめますので、おすすめです。



(図 4-18) もみじ園

(4) まちの駅 たちばな「美容院ビューティーたちばな」のパネル
作成したパネルは、図 4-19 のとおりである。

越路
地域

まちの駅 たちばな



ビューティたちばなは、長岡越路もみじ園の近くにある美容院です。店内はお花が溢れ、とても美しくあたたかさが感じられます。

お向かいの歯科医院に通う方たちや、近所の方たちに休憩場所を提供したいと、まちの駅に参加されたそうです。トイレも手すりを付けて使いやすいように改装してあります。

店長の金井さんは、美人でさっぱりした方です。美容院ですが、生花や手作りのドライフラワー、観葉植物などが飾られ、癒しの空間になっています。

まちの駅になってから（多分それ以前から）、みなさんがとても気軽に利用できる場所になっています。待ち合わせ場所にもなっています。



つ ぶ や き



まちの駅たちばなさんは平成28年9月に改装が完成し、あたらしくなりました！

駅長の金井さんのお話はとても楽しく、元気をたくさん貰えます。

話を通して金井さんの人柄の温かさを感じ、そしてそれがまちの駅に繋がっているんだと、そう思いました。

14K013 江口 枝里子



営業時間：午前8:30～午後6:00
定休日：毎週月曜日・第1火曜日・
第3日曜日
住 所：〒949-5411
長岡市来迎寺3946
TEL&FAX：0258-92-6333
フリーダイヤル：0120-6333-92



平成28年度編集：江口枝里子

(図 4-19) まちの駅 たちばな「美容院ビューティーたちばな」のパネル

4-1-7 まちの駅 越路我龍 「ラーメン居酒屋 越路我龍」

(1) まちの駅概要

「越路我龍」(図 4-20) は来迎寺地域にあり、築 100 年の古民家で楽しむラーメン居酒屋です。昔懐かしい煮干し醤油ラーメンや、味噌ラーメンなどを中心に取り揃えています。昼と夜で全く違った雰囲気が味わえるのが特徴です。こちらのまちの駅は、近所の「森の仲人千の森」さんからの誘いでまちの駅に加入し、越路地域では 7 駅目となる新しいまちの駅です。職人肌で寡黙な駅長さんは元トラック運転手でいろいろな地域に行っていたため、お話を聞いてみるのもいいかもしれません。

駐車場が広いので、車での利用も問題なくでき訪れやすい場所となっており、越路地域のみならず周辺地域や遠方からのお客様も多く訪れるお店です。ラーメンを食べに来ることに加えて、ミーティングや集合場所としても利用でき休憩、交流機能を持ったまちの駅といえます。



(図 4-20) まちの駅 越路我龍「ラーメン居酒屋 越路我龍」

(2) 学生ヒアリングメモ

- ・ まずは、煮干し醤油ラーメンを食べるべし！おすすめです！トッピングに煮卵を忘れずに！
- ・ 古民家で食べるラーメンも、落ち着いた感じで他ではあまり味わえないと思います。
- ・ 運が良ければ広い古民家も見学できるかもしれません。

(3) おすすめ周辺観光スポット：越路郷土資料館（長岡市来迎寺甲 1392-1）（図 4-21） （文献 9）

「越路郷土資料館」は、まちの駅「越路我龍」からは若干距離は離れますが、同じ来迎寺地域に所在しています。越路にはさまざまな歴史がありますが、ここを訪れば大体のことは知ることができ、展示品とともに越路の歴史を観ることができます。

こちらの施設は、1 階と 2 階に分けて展示されており、1 階には「収蔵室」があり展示前の自然・歴史民俗資料等が保管されています。ここでは、非常に近い距離から貴重な資料を観ることができるため、2 階の展示室とは違った雰囲気が味わえます。一方、2 階の「展示室」では、自然・歴史・民俗資料の分類展示を観ることができます。ここでは、一般的ないわゆる「資料館の雰囲気」が味わえ、音声やパネルでの紹介もされています。

こちらにも、駐車場が完備されているため車での観光も問題なくできますが、開館時期や開館時間がありますのでご注意ください。



(図 4-21) 越路郷土資料館

(4) まちの駅 越路我龍「ラーメン居酒屋 越路我龍」のパネル
作成したパネルは、図 4-22 のとおりである。

越路
地域

まちの駅 越路我龍



大正13年築の古民家を活用した建物から、古き良き時代が伝わってきます。

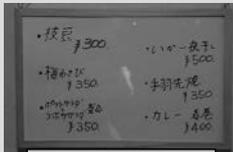
まちの駅を始めたきっかけは、知り合いのまちの駅「千の森」さんからの紹介です。

古民家を改装した昔ながらの雰囲気があるお店です。昼はラーメン屋、夜は居酒屋をやっています。

ラーメンは醤油と味噌をベースに数種類あり、味は、比較的あっさりしています。ご近所の方たちに人気です。

夜の居酒屋では、唐揚げや枝豆などの王道のメニューが揃っています。特に唐揚げが人気です。

今後は、もっといろいろな人来てもらい喜んでもらうこと、こちらのお店を長く続けられることが目標です。



居酒屋のメニュー



お昼は、12時～13時が混みます。その時間を避けていくと、比較的落ち着いて食べられます。



チャーシュー麺

おしながき	
ラーメン	
醤油ラーメン	650 円
チャーシュー麺	800 円
卵のりラーメン	730 円
ネギラーメン	730 円
味噌ラーメン	750 円
味噌チャーシュー麺	900 円
辛味噌ラーメン	850 円

ラーメンのメニュー

この他に、餃子定食や冬季限定のもつ煮定食などもあります！



味噌ラーメン

シンプルながら味わい深いラーメンは絶品！

《学生のつぶやき》

辛さの中に優しさあり。絶品の辛味噌らー麺!!!

古民家を活用した外観や店内が印象的で、落ち着いた雰囲気を感じました。

どこか懐かしい空間で食べるラーメンは一層美味しかったです。

ヒアリングの際、どのような質問でも丁寧に対応していただいて、駅長さんの人柄の良さを感じました。

14K005 池田諒馬 14K079 山崎隼斗

14K019 片桐湧太 16K071 山城時生



〒949 - 5406

長岡市浦4736-11

TEL : 080 - 3323 - 4629

定休日 : 火曜日 (火曜祝日の場合は営業、翌日休み)

営業時間 : 11:00~14:00、17:00~22:00

平成29年度作成

(図 4-22) まちの駅 越路我龍「ラーメン居酒屋 越路我龍」のパネル

4-2 まとめ

本章では、越路のまちの駅全7駅とそのおすすめ周辺観光スポットを紹介してきた。おすすめ周辺観光スポットについては、まだまだごく一部で他にも各まちの駅あるいは各まちの駅周辺以外にもたくさん存在する。この章で紹介した観光スポットは、「文化・歴史」面でのスポットが目立つが、他にも「食」や「遊び」の面でのスポットも多数存在する。これらの周辺観光スポットについては、ぜひ「越路まちの駅マップ」をご覧ください。

実際にこれらの各まちの駅および周辺観光スポットにヒアリングに行ったが、越路地域は思っていた以上に広く、かつ歴史・文化・食のさまざまなスポットがあり、まだまだ長岡市の地域で知らない魅力がたくさんあると感じた。また、学生自身が楽しみながら実際に足を運ぶことで、今回のマップにそれらの要素を落とし込めたのではないかと振り返っている。

5. 越路まちの駅マップの配布

ここでは作成した越路まちの駅マップの配布について説明する。酒楽の里あさひ山 蛭庵での配布、長岡大学悠久祭での配布、もみじ園での配布について紹介する。

5-1 酒楽の里あさひ山 蛭庵での配布（図 5-1）

(1) 日時

平成 29 年度 10 月 22 日（日）

(2) 場所

酒楽の里あさひ山 蛭庵

(3) 参加メンバー

鯉江ゼミ	氏 名
4 年生	江口枝里子、中曾根湧
3 年生	加藤茉那、新保聡、鈴木絵莉香

(4) 内容

酒楽の里あさひ山蛭庵に来た方に、越路まちの駅マップを配布した。越路のまちの駅の方々が物産展を開き、そこに訪れる観光客に配りマップの PR を図った。また朝日山本社に訪れる市内外の方に向けても配付した。

(5) 感想

このイベントで初めてマップをお披露目することになったが、沢山の方がマップを受け取ってくれて良かったと思う反面、地元の方は比較的少なかった印象だった。当日の天候は雨だったが、バスツアーの参加者以外にも蛭庵での食事目的で来られた地元地域や周辺地域の方々にも越路まちの駅マップを配布できた。今回初めて配ったが、越路をもっと知ってもらうには、まず県外の人ではなく、地元の人からこのマップを配り、繰り返し訪れたいいただくために知ってもらうことが重要だと感じた。越路地域のまちの駅の出店もあり、あさひ山の中は多くの人で賑わっていた。緊張で初めはマップを渡すという行為も難しく大変だった。しかし、自分たちでつくったマップを配りそれを見てくれる人が多くとても嬉しかった。

5-2 長岡大学悠久祭での配布（図 5-2）

(1) 日時

平成 29 年度 10 月 28 日（土）、29 日（日）

(2) 場所

長岡大学悠久祭 まちの駅パネル展示会場

(3) 参加メンバー

鯉江ゼミ	氏 名
4 年生	池田諒馬、江口枝里子、片桐湧太、木島俊久、小松綾乃、須田滉介、陳 奥、田 源一、中島なつ美、中曽根湧、薙澤雄樹、山崎隼斗、楊 婉蘭、横田百合江、鷺尾創太
3 年生	王 巍、加藤茉那、ジャンガルサイハン・ビャンバトゥブシン、新保聡、ガントゥムル・ウーガンツェツェグ、ツォゴ・ムンフザヤ、フレルバートル・ガンチメグ、李 文秀
2 年生	山城時生

(4) 内容

長岡大学悠久祭まちの駅パネル展示会場にて、パネル展示と併せてマップの配布を行った。まちの駅のパネルを見に来てくださった方に向け、自分たちの活動の一つとして紹介をした。

(5) 感想

学生たちが作ったという点とすべてが手書きだった点に驚いて、マップに興味を持たれたりする方が多かった。それと同時に越路に 7 駅もまちの駅というものがあるのかという意見も頂き、まちの駅の認知度はまだまだ低いと感じた。今回のマップを機に少しでも知って頂きたいと感じた。また当日は約 200 枚という数を配布することができ、達成感を感じた。そしてマップを説明する際に、事前に用意していたサイズよりも大きいサイズのものを使用したことで、より詳しい説明を行えた。

5-3 もみじ園での配布（図 5-3）

(1) 日時

平成 29 年度 11 月 5 日（日）、11 日（土）

(2) 場所

もみじ園

(3) 参加メンバー

11 月 5 日（日）

鯉江ゼミ	氏 名
4 年生	片桐湧太、須田滉介
3 年生	加藤茉那、新保聡、鈴木絵莉香

11 月 11 日（土）

鯉江ゼミ	氏 名
4 年生	木島俊久、小松綾乃、中島なつ美、中曽根湧、山崎隼斗
3 年生	ジャンガルサイハン・ビャンバトゥブシン、李 文秀

(4) 内容

もみじ園にて、もみじを見に来た観光客の方に 5 日、11 日の 2 日間にわたり配布を行った。県外および旧越路町周辺の方々も多く、様々な方にマップの PR を行った。

(5) 感想

実際に配ってみて多くの方に手に取ってもらえた。学生の一言コメントや編集後記など出来栄を褒めていただくことも多く良かった。また地元の方も話のネタになると言って受け取ってくれる方もいた。地元の方からは道の表記や観光スポットのイラストを褒めて頂いた。そして全体的にマップを開いてしっかり読み込んでくれていたのが印象的だった。

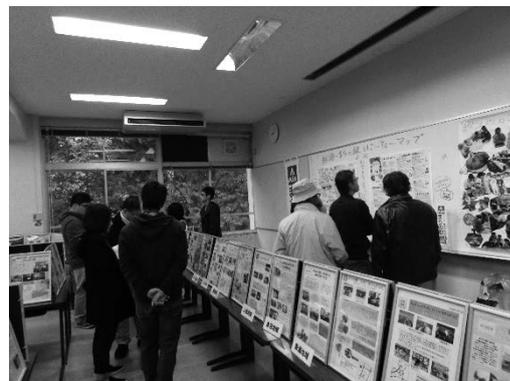
11 日はあいにくの雨だったので、地元の方というより観光バスで来ていた方が大半だった。親子連れから年配の方まで幅広く配布できたと感じた。

5-4 まとめ

すべての配布イベントを通して、紙媒体なので意外と受け取ってくれる方が多かったという印象だった。持ち運びやすいサイズだったのですんなりと配布ができた。旧越路町周辺の方やそれ以外の方も受け取ってくれる人も多く嬉しかった。また、越路のまちの駅の認知度もまだまだ低いと実感するという発見があった。初めてのマップ制作だったがたくさんの方に受け取ってもらえたこと、また越路のまちの駅の方から褒めて頂いたことから成果があったのではないかと感じる。



(図 5-1) 蛭庵での配付



(図 5-2) 悠久祭での配付



(図 5-3) もみじ園での配付

6. 中間発表会・成果発表会

6-1 中間発表会

(1) 日時

平成 29 年 11 月 13 日（月） 14：40～16：30

(2) 場所

長岡大学 第 5 会議室

(3) 内容

- ・発表
「まちの駅」から越路地域の魅力発信
- ・ご意見・ご感想
市民協働推進都市市民協働課：高橋 秀一 氏
手作り漬物の駅：【駅長】内藤 敦 氏
長岡大学：鯉江 康正 教授

(4) アドバイザーおよび発表学生

<「まちの駅」から越路地域の魅力発信 アドバイザー>

市民協働推進都市市民協働課：高橋 秀一 氏

手作り漬物の駅：【駅長】内藤 敦 氏

<教職員参加者>

長岡大学：鯉江 康正 教授

<発表学生>

4 年生：江口 枝里子 中曾根 湧

3 年生：加藤 茉那 新保 聡 鈴木 絵莉香

(5) 開催目的

成果発表会に向けての発表練習と見直しを行うためにアドバイザーの方に意見を頂く。

(6) 感想

アドバイザーの方に今年一年の成果をまず発表した。時間制限などがなかったため発表は 30 分くらいであった。私たちは完璧なものを作り発表したつもりではいたが、大人の意見を聞くと指摘されることが多くあった。いろいろな意見を頂けたので成果発表会への意欲を高めることができた。

6-2 成果発表会

(1) 日時

平成 29 年 12 月 2 日（土） 13：00～

(2) 会場

ホテルニューオータニ長岡 NC ホール

(3) 内容

- ・発表

「まちの駅」から越路地域の魅力発信

- ・ご意見・ご感想

市民協働推進都市市民協働課：高橋 秀一 氏

手作り漬物の駅：【駅長】内藤 敦 氏

長岡大学：鯉江 康正 教授

(4) アドバイザーおよび発表学生

<「まちの駅」から越路地域の魅力発信 アドバイザー>

市民協働推進都市市民協働課：高橋 秀一 氏

手作り漬物の駅：【駅長】内藤 敦 氏

<教職員参加者>

長岡大学：鯉江 康正 教授

<発表学生>

4 年生：江口 枝里子 中曽根 湧

3 年生：加藤 茉那 新保 聡 鈴木 絵莉香

(5) 開催目的

地域活性化プログラムに参加するゼミナールの一年間を通しての活動成果を 13 分で発表。

(6) 感想

越路まちの駅マップの一年間の活動の成果を発表した。13 分という短い時間の中で活動内容を分かりやすく説明できたと思う。質疑応答では、アドバイザーの方々に発表した学生全員が感想を話した。4 年生の振り返りも 3 年生の今後の展望もしっかりしたものが言えていた。総評では「鯉江ゼミは年々良くなっているね。」という意見やアドバイザーからは「中間発表で指摘したところがしっかり直っていてよかった。」というような感想を頂き達成感を得ることができたと共に、私たちは自信を持つことができた。発表後の打ち上げでは、普段とは違った雰囲気ですべてのゼミ生全員楽しく交流できたと感じた。打ち上げは朝 5 時まで続いた。

6-3 まとめ

この章では中間発表会と成果発表会について述べてきた。中間発表会では私たちが行ってきた活動や越路まちの駅とその周辺おすすめスポットの紹介を行った。中間発表会ではマップを制作する上で大変だったことや、楽しかったことを重点的に話したが、アドバイザーの方からマップを制作する大変さや気づきあまり伝わってこない、また、学生からの提案があった方がいい、鯉江ゼミナールはやらされているのではなく楽しんでやるのが地域活性化に繋がるという気持ちを強く持っているが、その具体的な根拠が欲しい、といった意見をいただいた。

成果発表会に向けては、中間発表会は30分くらいの発表だったため時間を13分に削ること、また指摘されたことを反映させることに大変苦勞した。成果発表会は中間発表の時以上に人がいたこと、会場が学校ではなくホテルで行われたこと、発表の順番が最後であったことなどがあり学生はとても緊張していた。発表後の質疑応答でも何が聞かれるのかわからない中、発表した学生全員が答えることとなったが、今年一年活動を行ってきたことが功を奏してしっかり答えることができたと思う。今回の発表を通して、私たち自身も一年間の活動を振り返ることができたと共に、聞いてくださったお客様や鯉江ゼミナール以外の本学の学生にも活動内容を知ってもらえることができたと感じる。総評でも、発表の事を褒めていただくことが出来たため、来年も活動をしっかりと行い、やってきたことをしっかり相手に伝えられるような発表にしていきたいと思う。

7. 越路まちの駅マップ 慰労会

(1) 日時

平成 29 年 12 月 18 日 (月) 19:00~22:00

(2) 場所

アオーレ長岡 西棟 3 階 協働ルーム

(3) 内容

- ・ごあいさつ・・・手作り漬物の駅：【駅長】内藤 敦 氏
- ・ごあいさつ 乾杯・・・長岡市まちの駅ネットワーク会長：原田 敏 氏
- ・スライド発表 (図 7-1)
鯉江ゼミナール 「まちの駅」から越路地域の魅力発信：鯉江ゼミナール学生
モンゴル出張の際の写真紹介：鯉江 康正 教授

(4) 参加者

<事務局・まちの駅関係者> (敬称略)

- ・市民協働推進都市市民協働課：高橋 秀一 氏 岩嶋 雄人 氏
- ・長岡市まちの駅ネットワーク：【会長】原田 敏 氏
- ・手作り漬物の駅：【駅長】内藤 敦 氏
- ・まちの駅 酒蔵のある里：【駅長】平田 誠 氏
- ・ほたる焼きとせんべい薪ストーブの駅：【駅長】吉岡 和男 氏
- ・まちの駅 森の仲間「千の森」：【駅長】青柳 忠浩 氏
- ・越後古民具の駅：【駅長】井口 康子 氏
- ・まちの駅 たちばな：【駅長】金井 ふく子 氏

<教職員参加者>

長岡大学：鯉江 康正 教授

<学生参加者>

4 年生：江口 枝里子 中曾根 湧

3 年生：加藤 茉那 新保 聡 鈴木 絵莉香

(5) 開催目的

今年度の活動を労うと共に、今後の活動をスムーズに行えるよう交流を深めるために実施された。

(6) 参加学生の感想

今年一年多くの交流をすることで、越路まちの駅マップを完成させることができた。越路まちの駅の駅長さんや事務局の方に助けて頂きながら多くの情報を得ることができ、より良いマップが完成したように思える。その方々との慰労会ということもあり、非常に楽しく有意義な時間だった。また成果発表会で発表したスライドを当日来られなかった人のために改めて発表することとなり、みなさんからお褒めの言葉をいただくことができた。

当日はマップ作成に関わった方々がほとんど来られており、少ない予算で沢山の差し入れをいただいた。アドバイザー以外の方にも成果発表の内容や自分たちの思いを伝えることができた。来年はどのような関わり方をするのかまだ決まっていないが、今回できた繋がりは無駄にはしてはいけないと感じた。

(7) まとめ

この章では越路マップ完成に基づき行われた慰労会について述べてきた。越路マップを作成するにあたり多くの方の協力があったからこそ、よりよいマップを制作することができたと感じる。数多くの打ち合わせでも交流を深めることができたが、今回はお酒を交わしての交流だったため、今まで以上に交流を深めることができたように感じた（図 7-2）。私たち学生はこのような機会があまりないので今回はとてもいい経験になったように思えた。

成果発表会后改めて発表する機会が与えられ、成果発表会とはまた違った発表をすることができた。発表の機会も決して多くはないためこのような機会を与えていただけたことに感謝したい。また長岡市まちの駅ネットワークの会長原田敏氏も今回の慰労会に参加していただき、また別の視点からの意見・お話しを聞くことができ良かったと思う。



(図 7-1) 発表の様子



(図 7-2) 慰労会の様子

8. とりまとめ

今年度の活動テーマは、「まちの駅から越路地域の魅力を発信」であった。以下、今年度の活動・研究で明らかになった点をまとめ、今後の課題を整理する。

長岡市越路地域の全7駅のまちの駅と連携し、今年度は新しい活動として越路まちの駅マップを作成した。観光マップを作るという取り組みは、他県や様々な地域で行われており、地域活性化を推進する重要なツールであると考えられる。そこで、本鯉江ゼミナールが例年行っている活動を継続しつつ、マップによる地域紹介という形で地域の活性化を試みた。

マップ作成までのプロセスは、まず越路地域のまちの駅全7駅にヒアリング調査に伺った。ここでは各まちの駅長さんからおすすめ観光スポットや越路地域の歴史や魅力を聞き、マップに載せるための情報収集を行った。それらの情報を基に、学生の視点でそれぞれの観光スポットを実際に見て、学んで、越路を知ることが重視しながら現地調査を行った。そして、それらの情報をゼミ生全員で共有し、マップに載せる場所や情報の選定を行った。

完成したマップは、表記される文字・イラストは全て手書きに統一し、印象を柔らかくした。さらに、既存のマップにはない学生目線の面白い要素を盛り込み、実際に使ってもらう方々の視点に立って、見やすさや使いやすさを重視した。ここでは、自分たちが初めてマップを作成することで得た苦労や気づきなどを通じて、今までの活動にはない達成感を得ることができた。

越路地域の魅力紹介では、自分たちが行ってきた活動で得た情報を基に、各まちの駅とその周辺観光スポットをマップには載せられなかった情報を多く紹介してきた。各まちの駅とその周辺観光スポットを併せて紹介することで、「まちの駅に訪れるお客様を観光スポットへ」、「観光スポットへ訪れる観光客をまちの駅へ」と相乗効果を期待している。また各まちの駅が、まちの駅の4つの機能のどの部分に力を入れているのかについても、紹介した。マップとは違った越路の魅力を紹介できたと振り返っている。

越路まちの駅マップの配布では、3会場でマップを配布してきた。実際に自分たちでマップを配ってみて感じた気づきも多かった。同時に、県内で有名な越路の観光スポットの知名度は高いが、比較的有名ではない観光スポットや越路の各まちの駅はまだまだ認知度が低いと感じた。しかし、初めてのマップ作成でたくさんの方に受け取ってもらい、各方面からお褒めの言葉をいただき、少しでも成果があったのではないかと振り返っている。

中間発表会・成果発表会では、今年度自分たちが行ってきた活動を広め、伝えることを目的に行った。中間発表会では時間の制限がなかったため、詳しく説明できた。また、アドバイザーの方々に発表に対する意見や指摘を頂戴し、成果発表会への準備を進めた。一方、成果発表会では13分という限られた時間の中での発表だったため、発表内容の選定などで苦労したが、「自分たちがこれまでやってきた活動に自信を持ち、それを伝える」ことを重視し発表することで、総評では高い評価を頂くことができた。

越路まちの駅マップ慰労会は、今年度のマップ制作活動を労うと共に、今後の活動をスムーズに行えるよう交流を深めるために実施された。特に来年も継続してゼミを支えていく3年生にとっては非常にいい経験になったと思っている。また、4年生も最後のゼミでこのような活動をできたことに誇りを持てる活動だったと再認識させてもらういい機会と

なった。

今回のこの活動を通じて、それまであまり知らなかった地域の観光スポットやまちの駅に自分たちで足を運ぶことで、全く違った見方ができるようになったと感じた。昨年度よりもまちの駅への理解が深まったことや、よりまちの駅を重視した考え方・視点を持てるようになったと振り返っている。さらに、各まちの駅の方や地域の方々との交流がより強くなったことで、活動自体を楽しみながら参加できたのではないかと感じる。今後も活動の内容に限らず、自分たちから積極的に活動に関わっていき、学生一人ひとりがその地域あるいはその地域の「まちの駅」を広めていく「ファン」になっていくことが理想である。さらに今後も「地域活性化活動はやらされているのではなく自分たちから楽しんでやる」ということを忘れずに活動していきたい。

以上の活動を通じて得られた今後の課題について述べる。まず学生側の課題としては、このマップに更新をかけていくのが課題となる。この点については、一部の学生に限定せず、自分たちのできる範囲で活動していきたい。また、実際にこのマップが地域にどのような効果をもたらしたのかについても研究していく必要がある。経済経営学部の学生としての知識を活かし、効果を数量的に計測していくことも一つの方法かもしれない。一方越路側では、今後のマップの展開・活用方法をもう一度考えていく必要がある。現在、まちの駅全7駅と主要観光スポットのみに越路まちの駅マップを置いているが、これらの場所以外でも展開・活用していくことでマップを通じて越路地域をより知ってもらうことが重要である。これらの課題を意識しながら今後の活動につなげていきたい。

最後に、今後の活動につなげていくために学生が考えた提案を紹介する。今回制作したマップはあくまでもツールで何もしなければただの紙になってしまう。そこで今後はこのマップとともにこの活動自体を広めていくことが重要であると考えている。まず一つ目が、毎年開催されている全国のまちの駅の駅長さんが集う「まちの駅全国フォーラム」でこのマップをお披露目し、この活動を広め知ってもらうことである。二つ目は、一つ目の延長になるが、他県にもマップを通じて地域活性化活動を行っている地域はたくさんある。それらの地域とマップを交換し合い、自分たちが行っている活動を再認識しながら活動を広めていくことである。三つ目は、現在このマップは紙媒体でしか存在しておらず、基本的には配付されている場所ではしか手に入れることができない。しかし、今の時代どこか観光するとなれば多くの方はネットを活用する。そこで将来的にはこのマップをネットでも閲覧できるようにネット対応してもいいのではないかと考える。これらの提案を活動の視野に入れながら今後のさらなる越路地域の活性化につなげていただきたい。

〈謝 辞〉

最後に、お忙しい中、私たちの取組に全面的に応援して下さった「長岡市市民協働推進部市民協働課」の高橋さん、「手作り漬物の駅」内藤さんを始め、ヒアリング調査、マップ作成に協力してくださいました地域の皆様、誠にありがとうございました。

また、日頃の活動のサポートや報告書の作成などでいろいろとご協力して頂いた「長岡大学地域連携研究センター」の職員の方々にもお礼を申し上げます。ありがとうございました。

(以上)

〈参考文献〉

(文献1) 朝日酒造 Web サイト <http://www.asahi-shuzo.co.jp/>

(文献2) 長岡市 Web サイト <http://www.city.nagaoka.niigata.jp/>

(文献3) 宝徳山稲荷大社 Web サイト <http://www.houtoku.or.jp/>

(文献4) 全国まちの駅連絡協議会 (2017) 『まちの駅足かけ 20 年のあゆみ』

(文献5) 長岡大学 (2015) 『学生による地域活性化提案プログラム 鯉江康正ゼミナール活動報告書』

(文献6) 長岡大学 (2016) 『学生による地域活性化提案プログラム 鯉江康正ゼミナール活動報告書』

(文献7) 越路観光協会「越路ボランティアガイドテキスト」

(文献8) 越路郷土資料館 (パンフレット)

(文献9) 越路琴製材組合 (パンフレット)

(文献10) ほたる舞う里 越路「長岡市越路観光ガイド」

長岡大学 学生による地域活性化プログラム 各プロジェクト報告書

1. 十分杯で長岡を盛り上げよう！
—羽ばたけ長岡の宝 十分杯！—
権 五景（樂九）ゼミナール（1）
2. 長岡の隠れた地域資源を若人に広めよう！
栗井英大ゼミナール
3. 「まちの駅」をフィールドとした活動等による地域活性化への貢献
鯉江康正ゼミナール（1）
4. 企業ホームページの改善提案とデモサイトの制作
村山光博ゼミナール
5. グラスルーツグローバリゼーション ～草の根・地域からの人類一体化の推進～
広田秀樹ゼミナール
6. 酒粕で長岡を盛り上げよう！
—酒粕商品化、権ゼミの試練—
権 五景（樂九）ゼミナール（2）
7. 地元企業の働き方を知る
鈴木章浩ゼミナール
8. 「まちの駅」から越路地域の魅力を発信
鯉江康正 ゼミナール（2）

平成29年度 学生による地域活性化プログラム
鯉江康正ゼミナール活動報告書

【発行日】 平成30年3月19日
【発行人】 村山 光博
【発行】 長岡大学 地域活性化プログラム推進室
〒940-0828 新潟県長岡市御山町80-8
TEL 0258-39-1600（代）
FAX 0258-39-9566
<http://www.nagaokauniv.ac.jp/>